



平成 30 年 1 月 31 日(水)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 佐々木 秀之

# 開四小だより

## 2月号

身近になったけれど

校長 佐々木 秀之

一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言われるように、年が明けてから早一か月が経ちました。先週降った雪はいまだに残り、校庭はまだしばらくは見えそうにありません。また、インフルエンザは全国的に猛威を振るい、本校も先週より学級閉鎖が相次ぎました。できる限り、感染を防ぐことができるよう、今後も十分配慮してまいりますので、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

＊

文部科学省は毎年、小学校第 6 学年と中学校第 3 学年を対象に 4 月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しています。

調査の結果をみると、小学校第 6 学年ではおよそ半数の子供が携帯電話やスマートフォンを保有し、平日に 1 時間以上、通話やメールなどをすると答えた子供は 15.1%に上っています。学力調査の結果では、全科目で携帯電話やスマートフォンの使用時間が少ないほど平均正答率は高く、文部科学省は「はじめをつけて使うのが重要」としています。

また、新聞やニュースを見る頻度が高いほど、国語、算数いずれも正答率が上昇する傾向にあったとの結果が出ています。

＊

現在、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器は目覚ましく発展し、キータッチの代わりに自分の声で機器を操作する音声インターフェースの利用が、これらをより身近なものとしています。

今後は、単純な音声インターフェースから更に発展し、気の利く個人秘書のような認識力や知識、表現力を持った役割を担うことが期待され、その開発が進められています。パソコンやスマートフォンが高級ホテルのコンシェルジュのように、時間と場所を含む利用者の状況や、時には利用者が気付いていないような状況も把握した上で、適切にアドバイスしたり情報提供したりしてくれるようになるのは、そう遠くない未来かもしれません。

＊

一方で、カメラを内蔵し手軽に動画を撮影でき、高速回線を通じて手軽に動画を公開できるスマートフォンが登場したことで、子供たちがトラブルに巻き込まれる例も少なくありません。

先月、5 年生と保護者の皆様を対象とした情報モラル講習会を実施しました。今まで、本校の子供たちが SNS を通じた大きな事故、トラブルに巻き込まれたということはありませんが、今後も子供たちが安全に生活を送ることができるよう、努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。